

第五十九回 震災被害者ニ對スル租税ノ特別委員會 會議事速記録第二號
帝國議會 貴族院 減免猶豫等ニ關スル法律案

昭和六年三月三日(火曜日)午後一時二十八分開會

○委員長(伯爵奥平昌恭君) ソレデハ大變

ニ延ビ、ニナリマシテ、今日只今カラ本委員會ヲ開クコトニ致シマシタノハ怠慢ノヤウデゴザイマシタケレドモ、生憎私ガ本會議デ質問ヲ致シマスノデ調査ニ調査ヲ重ネテ居リマシテ、副委員長ニ御願ヒ致シマセウト思ヒマシタケレドモ、副委員長モ亦豫算總會ノ方デ御忙シクテ、遂ニ今日マデ本案ニ對スル審議ガ延ビマシタヤウナ次第デ、ドウカ惡シカラズ御了承ヲ願ヒマス、ソレデハ是ヨリ會議ヲ開キマス

○政府委員(勝正憲君) 前回ノ委員會ノ際

ニ此震災地ノ減免税ノヤリ方ニ付テ御説明ヲ申上ゲマシタ際ニ、乙種資本利子税ノ減免税ノヤリ方ノ説明ガ少シ複雑デアリマシタ爲ニ、私ノ申上ゲタコトガ間違テ居リマシタカラ、今日訂正ヲ致シタイト思ヒマス、チヨット申上ゲタケデハ非常ニ複雑デゴザイマスルガ、乙種資本利子税ノ減免税ノヤリ方ハ斯ウ云フコトニナリマス、即チ既ニ決定セラレテ居ル所ノ所得金額ヨリ、震災ニ依ル損害額ヲ控除シマシテ、

殘タ金額ガナイ時ニハ、乙種資本利子税

ノ第二期分ハ全部免除イタシマス、是ガ第一點、第二ノ點ハ前ニ申上ゲマシタ殘額ガ資本利子金額ト同一デアルカ、又ハ同額以上デアル時ニハ減免税ヲ致シマセヌ、ソレカラ第三ノ點ハ前ニ申上ゲマシタ殘額ガ、資本利子金額ヨリ少イ時ニハ、此殘額ヲ資本利子金額トシテ、之ニ對スル資本利子税ダケヲ徵收スル、從ヒマシテ其稅額ヲ既定ノ資本利子稅額ヨリ控除イタシマシタ殘額ガ、資本利子税ノ第一期分ヲ超過スル時ニ限リマシテ、其超過額ダケヲ第二期分トシテ徵收スルコトニナルデアリマス、チヨット一口ニ申上ゲマシタケデハ分リマセヌガ、何レ又後刻必要ニ應ジマシテ懇談會ニ依テ申上ゲタイト思ヒマス

○馬場鑒一君 御配付ニナリマシタ參考書

類ニ依テ拜見シマシテ、本案ハ前二回ノ震災ノ場合ト大體ノ趣旨ハ同ジデアルコトハ能ク分リマシタガ、前ノ震災ノ場合ニハ茲ニ掲ゲラレタ税以外ノ税ニ付テ、徵收ヲ猶豫スルト云フ規定ガ入ッテ居ルデアリマス、今回ノハ第四條ニ第一條又ハ第二條ノ規定ニ依テ輕減又ハ免除セララルル租税

ニ付其ノ處分ノ確定スルニ至ルマデノ徵收

ヲ猶豫スルノデアリマスルガ、前ノ二回ノ震災ノ場合ニ於ケル如ク、徵收猶豫ノ規定ガ見エナイ、是ハ先般政府委員ノ御説明中ニ、奥丹後ノ震災ノ場合ハ少シ寛大ニ過ギタト云フヤウナ嫌ヒガアルカラ、此點ヲ改メタト云フ、其點ニ該當スルモノデアラウト存ズルノデアリマスガ、ドウ云フ譯デ前ニハ寛大ニ過ギタノデアリマセウカ、今回ソレヲ御省キニナッタ理由ヲ、モウ少シ詳細ニ承テ見タイト思ヒマス

○政府委員(小川郷太郎君) 馬場君ニ御答

ヘ致シマス、唯今ノ御質問ハ多分所得稅ト酒造稅ニ關係シテノコトデアルト思ヒマス、此震災ノ起ツタ時ト、其時分ノ色ミノ狀態ヲ考慮シタノデアリマスガ、御承知ノ通り奥丹後ノ震災ハ三月ノ七日デアリマス、今回ノ伊豆ノ震災ハ十一月二十六日デアリマス、ソレデ奥丹後ノ震災ノ折ハ御承知ノ如ク峯山ノ機業地、機織業ノ中心ガ殆ド皆燒ケテシマッタ、ソレカラ銀行モ稅務署モ皆禍ヲ受ケマシテ、書類ナンカモ無クナッタト云フ狀態デ、金融モ全ク杜絶シタヤウナコトデアリマシタ、サウシテ酒造稅

ハ御承知ノ通りニ三月納期デアリマス、何

トモ仕樣ガナイ、ソレデ法律デ酒造稅ノ猶豫ヲ規定イタシタノデアリマス、關東ノ震災ノ時モ御承知ノ通り法律ニハ酒造地ノ猶豫ト云フモノガアリマセヌ、關東ノアノ激シイ震災デスラ尙且ツナイノデアリマス、奥丹後ノ震災ノ折ニアノ酒造稅ノ猶豫ヲ認メマシタノハ納期ニ際シテ金融機關モ稅務署ノ方モ何方モ書類ガ燒ケタリシテ、徵收ガ容易デナイト云フヤウナ事情ニ鑑ミマシテ、以前ノ例ノナイコトヲ奥丹後ノ折ニハ法文ニ書イタノデアリマス、今回ノハ誠ニ震災ニ付テハ御氣ノ毒デ同情イタシマスケレドモ、其奥丹後ノ震災ノヤウナコトハスツカリ事情ヲ異ニシテ居リマス、ソレデ相續稅ノ方モ極メテ稅額モ僅カデ、關係者モ少イヤウナ事情ニ鑑ミマシテ、猶豫ヲ認メナクテモ差支ヘナカラウ、斯ウ云フヤウナ意味デ法文ニハ之ヲ書キマセナク次第デアリマス

○馬場鑒一君 御答辯ハ分リマシタノデス

ガ、酒造稅ガサウ云フ理由デアルト致シマシテ、相續稅ノ如キモノハドウデセウ、例ヘバ所得稅ノ減免ニシテモ、猶豫ニシテ

モ、詰り震災ニ依テ損害ヲ被ツタト云フコトハ、所得ノ資源ガ損害ヲ被ツタト云フヤウナコトニ關係ガナイノデアリマス、例ヘバ勤勞所得者デアッテモ、家ヲ破壊サレタヤウナ場合ニハ矢張り其損害ニ依テ所得税ノ减免ヲ受ケラレル、猶豫ヲ受ケラレルト云フナラバ、相續税ノ如キ、相續財産其モノニ付テ税ヲ納メルモノガ、財産ノ損害ニ依テ困テ居ルト云フヤウナ場合ニハ、徴收ノ猶豫ヲセラレルノガ如何ニモ至當ノヤウニ考ヘルノデアリマスガ、其點ニ付テハ只今ノ御説明デハ少シ斷ニ落チ兼ネルノデアリマスガ、モウ一度伺ヒマス

○委員長(伯爵奥平昌泰君) 此點ニ付テハ前ニ酒造税ト相續税ノ問題ニ付テハ、是ハチヨット關係ガ重大デアリマス、如何デセウカ、懇談會デ一ツ速記ヲ止メテ、此問題ニ付テ政府委員カラ説明ヲ伺ッテ、委員會ノ質問ヲ濟マシテシマヒタイト思フノデスガ、如何デセウ、政府委員ノ方ハ同意ラシテ居ルノデスガ如何デス

○馬場鐵一君 私ハ別ニ構ヒマセヌガ……

○委員長(伯爵奥平昌泰君) ソレデハ速記ヲ止メテ

〔速記中止〕

○委員長(伯爵奥平昌泰君) ソレデハ速記ヲ始メテ……

○加藤政之助君 私ハ前回ニ此法律案ヲ見ルト、總テガ命令デヤルヤウニナッテ居ル、ソレデ其命令ノ内容ガ分ラヌト言フト、我々ハ法律ノ精神ナリ又ハ取扱ノ手續、之ガ了解シニクイカラ其命令案ヲ出シテ戴キタイト云フコトヲ申シタノデ、所ガ茲ニ命令案ヲ未定稿トシテ、御訂正ニナッタノガ四箇條アル、所ガソレニ第五條ニ「第一條及第三條ノ震災地ハ命令ヲ以テ定ム」トアル、其命令案ガ僕ノ手ニハ來テ居ナイガ御發シニナッタノデスカ、ナラヌノデスカ

○政府委員(小川郷太郎君) ソレハ震災ノ地域ヲ何處ニ決メルカト云フコトヲ省令カ何カデ書ク積リデスガ、所ガソレハマダモウ少シ未定稿ニナッテ居ルノデ、下ノ郡ノドノ村ト云フ問題ニナリマスカラ其調査ヲ稅務署デモ念ヲ入レテヤッテ居マスカラ、後デソレヲ決メルコトニナッテ居リマシテ、今チヨット遺憾ナガラ具體的ノ町村ヲ此處デ御話スルコトガマダ出來マセヌ、大體標準ハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、家屋ガ全潰シ半潰シタト云フヤウナ程度ノ所ヲ震災ノ地域ト見テヤル積リデアリマス、甲ノ村、乙ノ村ト云フ迄ニマダ決ッテ居リマセ

ヌカラ、ソレハドウカ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○加藤政之助君 ソレガマダ御調中デ決定シテ居ラナイト云フナラバ、ソレハ致方ガアリマセヌガ、ソレガ決定シテ居ラヌト、後デ決ッダ所デ區域ニ入ルベキモノガ入ラナカッタ、ソレガ爲ニ其區域ノ者ガ非常ニ不幸ヲ見ルト云フコトニナルト云フ處ガアルノデアリマスカラ、此處ニ調べガマダ出來上ラナケレバ、ソレヲ強ヒテ御出シヲ願ハウト云フ要求ハ致シマセヌガ、其點ハ非常ニ御斟酌ニナラヌト後デ問題ガ起ルト思ヒマスカラ、ソレダケノ御注意ヲ願ヒマス

○石渡敏一君 私ハ第一條ノ先刻チヨット御話シタ從來ノハ「確力輕減又ハ免除ス」トアッタノヲ、今度ハ「免除スルコトヲ得」トナッタヤウニ思フノデスガ、ソコハドウ云フ違ヲ認メラレタノデアルカ、其事ヲ伺ヒマス

○政府委員(小川郷太郎君) ソレハ何方モ「得」トナッテ居リマス

○石渡敏一君 ソレカラ輕減ガ確力拔ケテ居タト思フガ、ソレハドウ云フ風ニナッテ居ルノデアリマスガ

○政府委員(小川郷太郎君) 「得」ノ方ハ御分リニナリマシタネ……奥丹後ノ場合ニハ免除スルコトヲ得ト書イテアリマシテ、今

度ノ法律ニハ輕減又ハ免除スルコトヲ得」ト書イテアリマス、前回ノ場合ニ於キマシテハ震災ノ起ッタノハ三月七日デゴザイマシテ、營業收益税ノ第二期ハ疾ニ濟ンデ、所得税ノ第一期、第二期、第三期ガ濟ンデ、第四期ダケ引懸ッテ、輕減ト云フコトハ事實上起リマセヌ、ソレデ免除ト書ケバ宜シカッタノデアリマスガ、今度ハ營業收益税ノ後期ガ濟ンデシマッタト云フ所ニ震災ガ起ッタ爲ニ、所得税ノ三期ト四期ガマダ未納ノ儘殘サレテ居リマスカラ、場合ニ依リマシテハ輕減シナケレバナラヌモノモ出來テ來ヤウト思ッタガ爲ニ「輕減又ハ免除スルコトヲ得」ト云フヤウニ範圍ヲ廣クスル方ガ執行ガ便利デアルト云フノデ、特ニ之ヲ差加ヘタ次第デアリマス

○石渡敏一君 府縣稅ノ方モ同一ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、ソレモサウ云フ御趣意ナンデゴザイマセウカ

○政府委員(小川郷太郎君) 府縣稅ハ此法律案デハ取扱ッテ居リマセヌ、唯權利ニ關係スル、資格ナンカニ關係スルモノ、選舉權デアリマスとか、何カノ資格ナンカニ關係スルニ於テハ、地方稅ヲ免減シテモ免減シナイ者トシ取扱フ、斯ウ云フノデアリマシテ、此法律ガ當然地方稅ヲ免ズル迄ニ

行ッテ居リマセヌ、併シ國稅ヲ免ジマスト地
方稅ハ自然免ゼラレルコトニナル斯ウ豫想
シテ居リマスガ、法文ニハ書イテ居リマセ
ヌ

○石渡敏一君 私ノ見損ヒデアツカモ知
レマセヌガ……モウ一ツ事實ノ問題デス
ガ、人カラ話ヲ聞イテ居ルノニ、今度ノ地
震ハナカ／＼強クテ、川ノ左側ニアツタノ
ガ切レテ右側ニ飛ンデシマッテ居ル所モア
ル、何處ダカ知ラスガ、サウ云フ所モアツ
ヤウニ聞イテ居リマス、斯ウ云フ山ガ脇ノ
方ニ飛ンダト云フヤウナ所ハ荒地トナルノ
デスカ、或ハ特別ニ此法律ニ依ッテ免除ト
云フ方ニナルノデアリマスガ、何方ニナル
ノデアリマスガ

○政府委員(小川郷太郎君) 石渡サンノ御
話ノ通りデアリマシテ、實ハ今度ノ地震ハ
斷層ガズレト申シマスカラ、斷層ガズレ
マシタカラシテ其處ニ在ル所ハ突起シタ所
モアリ、陥没シタ所モアリマス、サウ云フ
所ハ勿論地形ガ變ジタノデアリマスカラ、
今日ノ地租條例當然荒地ト看做サレテ免
稅ニナルコトニナリマス

○委員長(伯爵奧平昌恭君) 此法律案ニ付
テモウ御質問ハアリマセヌカ

〔モウアリマセヌト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵奧平昌恭君) ゴザイマセヌ
ヤウナラバ次ノ國際決濟銀行ニ租稅等ヲ課
セザルコトニ關スル法律案、ソレニ付テ……

○政府委員(小川郷太郎君) 此法律案ニ付
キマシテハ私ハ本會議大要御説明ヲ申上
ゲテ置キマシタガ、同ジヤウナ趣旨ノコト
ヲモウ一度此委員會デ御話ヲシテ置キタイ
ト思ヒマス、世界大戰後「ヴェルサイユ」平和
條約ニ基キマシテ、獨逸ノ國ハ舊聯合國ニ
對シテ賠償金ヲ支拂ッテ居ルノデアリマ
ス、所デ其支拂額及支拂方法ニ付キマシテ
種々問題ヲ生ジテ居リマシタノデ、之ヲ解
決スル爲メ關係各國ハ昭和四年ノ二月ニ財
政專門委員會、即チ「ヤング」委員會ト云フモ
ノヲ設置シマシテ其對策ヲ考究サシタノデ
アリマス、其報告ニ依リマシテ同年八月以來
和蘭ノ「ヘーグ」ニ於テ會議ヲ開キマシテ、昨
昭和五年一月二十日ニ至リマシテ「ヘーグ」
協定ナル條約ヲ締結イタシマシタ、此協定
ノ重要ナル一ツノ項目ハ、國際決濟銀行ナ
ル銀行ヲ設立シマシテ、同行ニ於テ獨逸國
ノ支拂フ賠償金ヲ受入レマシテ、之ヲ各債
權國ニ分配スルト云フコトデアリマシテ、
從來關係債權國ノ機關タル賠償委員會デ取
扱ッテ居リマシタ事務ヲ同行ニ移シタノデ
アリマス、此國際決濟銀行ノ獨逸國ノ支拂

ヨリ生ズル資金及投資ニ關シテハ「ヘーグ」
協定ノ締約國ハ一切ノ租稅、其他公課ヲ課
セザル爲メ必要ナル措置ヲ執ルト云フコト
ニナッテ居リマスノデ、我國ニ於キマシテ
モ法律ヲ制定イタシマシテ、此協定ノ趣旨
ニ副ヒタイト考ヘタ次第デアリマス、之ガ
本案ヲ提案シタ趣旨デアリマス

○加藤政之助君 是ハ只今ノ御説明ノ通り
國際會議ノ結果デ、國際決濟銀行ガ出來テ、
其資金及投資ト云フモノガ、ソレニ附隨シ
テ起ル其分配、今ドウ云フコトニナッテ
居リマスガ、日本ハドレダケ負擔シテ居リ
マスガ

○政府委員(小川郷太郎君) チョット御質
疑ガ分リマセヌデスガ……、負擔ト云フノ
ハドウ云フ御趣旨デアリマセウカ

○加藤政之助君 此協定ニ基キ獨逸國ノ支
拂フ年金ヨリ來ル資金及投資ニ關シマシテ
ハ、一切租稅其他ノ公課ヲ課セザルト云フ
コトデアリマスガ……

○政府委員(小川郷太郎君) 國際決濟銀行
ト云フノハ關係國ガ寄ッテ株ヲ引受ケテ出
來タノデアリマス、其趣旨ハ獨逸ノ賠償金
ヲ先ヅ此銀行ガ受入レマシテ、サウシテ其
銀行カラ各債權國ニ分配シテ行カウ、斯ウ
云フコトナンデス、銀行事務ヲヤリマスガ

ラ銀行事務ノ外ノモノハ別ト致シマシテ、
獨逸ノ方カラ支拂ッテ賠償金、ソレカラ生
ズル資金及投資ニ關シテノ租稅公課ヲ課
ケナイ、斯ウ云フコトナンデアリマスガ
ラ、獨逸ノ賠償金カラ來マシタモノヲ或ハ
預金ニシテ居ルトカ、或ハ投資デスカラ手
形ニ入レテ居ルトカ、何トカ云フモノニ關
シテ稅ヲ課ケナイ、斯ウ云フ趣旨ナンデア
リマス

○石渡敏一君 チョット勝手デスガ、サウ云
フ條約ヲ法令輯覽ノ中デ見マシテモマルキ
リ出テ居ナイ、ドウ云フ形ノ條約デアルカ、
其條約ヲ一ツ拜見ヲ第一ニ先ヅシタイ、
ソレカラ第二ニハ免稅ヲ日本デスルトナッ
タナラバ、ドウ云フ場合カト豫想シテ見ル
ノデスガ、株券ヲ誰カ日本ノ法人デ持ッテ
居ル、其株券ノ配當デモアルト云フ時カ、
ソレカラ役員ノ俸給、日本人ガ役員トナッテ
俸給ヲ取ッテ場合カ、日本ニ貸金ガアル、ソ
レガ利息ヲ附ケテ貸シテアルノダカラシテ
稅ヲ取ル、所得稅ヲ取ル、斯ウ云フ三ツ位
ナ場合ダケガ豫想サレルノデスガ、マダ其
外ニ稅ヲ免除スベシト云フコトガ、事實上
何處カニ起ッテ來ルノデスカ、チョット伺ヒ
タイ、實際ドウモ私共ニハ見當ガ付カナイ
ノデスガ、ドウ云フ場合ヲ是ハ豫定シタモノ

デスカ

○加藤政之助君 私モ今御述べニナル通りニ、免除スルト云フ項目ガ明瞭デナイノデ、ドウ云フモノヲ免除スルト云フ目的デ此法律ヲ御出シニナルノカ、明瞭ニ御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(勝正憲君) 御尋ネノ趣旨ニ副ヒマスカ副ヒマセヌカ分リマセヌガ、一應御答ヘ申シテ置キマス、此「國際決濟銀行ノ資金及投資竝ニ之ヨリ生ズル收入ニハ一切ノ租税其ノ他ノ公課ヲ課セズ」ト云フコトニ規定スル積リデアリマスガ、此本トナル「ヘীগ」協定デアリマス、是ハマダ御批准ガ済マズニアルノデアリマス、其準備行爲トシテ立法ヲシテ置キタイト云フ順序デ今法律案ガ出來テ居ルノデアリマスガ、扱テ之ガ愈、法律ニナレバドノ位ノ働キガアルカト云フコトヲ考ヘテ見マスト大シタコトハナイノデアリマス、國際決濟銀行ノ取扱店ガ日本ニ出來マス、其資金ヲ日本ニ於テ預入スルコトガアリマス、サウスレバ其預ケ金ノ利子ガ付ク、其利子ニ付キマシテ第二種所得税或ハ資本利子税ヲ免除スル、或ハ其投資ノ形トシテ社債ヲ買入レルトカ、地方債ヲ買入レルトカ云フヤウナコトノアリマシタル時ニ、其地方債ノ利子ヲ受取ル際ニ、

第二種所得税デアルトカ、資本利子税ヲ取ラナイト云フ位ナコトガ主ナコトデアリマシテ、餘リ大シタコトハナイグラウト思フノデアリマス

○石渡敏一君 サウシマスト若シ國際銀行ガ利殖ヲ計ル爲ニ日本ノ公債ヲ買入レタ、サウスルト公債ノ利子ニ付テハ免除シテシマウト云フコトニナルノデスカ

○政府委員(勝正憲君) 公債モ日本ノ國債デゴザイマスレバ國際ノ利子ニハ所得税ヲ課セズト云フ法律ガアリマスカラ問題ニナリマセヌガ、公債ノ中ニ地方債デアル、地方債ヲ買入レタ場合ニハ唯今御答辯申上、ゲマシタ通り、其利子ニ對シテハ所得税ヲ取ラヌト云フコトト、及ビ資本利子税ヲ取ラナイト云フコトニナリマス

○馬場鑒一君 チョット此今ノ法律ヲ出サレタ此協定ノ條文ヲ、チョット讀ンデ載キタイデスガ、條文ヲ承知シナイノデスカラ……

○政府委員(小川郷太郎君) ソレハ今御話申シマシタヤウニ、昭和五年ノ一月二十日ニ「ヘীগ」協定ト云フノガ出來タノデス、是デ「ヤング」案ガ國際協定ニ現ハレテ來タノデ、ソレデ、國際決濟銀行ノコトハ其「ヘীগ」協定ノ中ニ規定サレテ居ルノデス、今

關係ノ條文ハ斯ウ云フ文句デ書イテアリマス、第十條ニナッテ居リマスガ、「締約國ハ獨逸國ノ支拂ヨリ生スル國際決濟銀行ノ資金及投資カ國又ハ地方ノ一切ノ財政的負擔ヲ免除セラルルニ必要ナル措置ヲ各自ノ領域内ニ於テ執ルヘシ」ト云フコト是ハ御斷リ申シテ置キマスガ、此譯文ハマダ實ハ公ケニナリマセヌデ居リマスカラ、マアサウ云フ趣旨ノト云フコトデ書イタノデ、此文字ヲ此通りニ譯シテ宜イカト云フコトハ樞密院ニマダ、御諮詢ニ掛ケテアリマセヌデスカラ、唯議會ノ立法權ヲ尊重イタシマシテ、此條約ノ御裁可ノナイ前ニ、此議會ノ協賛ヲ求メテ居ルヤウナ次第デアリマス、デ何レ後ニ樞密院ニ御諮詢ニナリマシテ、ソレデ此「ヘীগ」協定ガ御裁可ニナルノグラウト斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、從テアノ條文ノ譯語ハマダ外務省ノ方カラモ、チョット、一ツノ假リニサウ云フヤウニヤッテ居ルト云フコトナンデアリマス、誤譯トカ何トカ云フヤウナコトガ、又問題ガ起リマスカラ……併シ今ノヤウナ趣旨ノ條文ガアルト云フコトダケ……

ト云フ言葉ハ協定ニハナイノデスカ
○政府委員(小川郷太郎君) ドウ云フノデスカ

○馬場鑒一君 今御讀ミニナッタノハ字句モ確定のモノデナイノデスカ、御讀ミニナッタ趣意ノ中ニ「國際決濟銀行ノ資金及投資竝ニ之ヨリ生ズル收入」……「竝ニ之ヨリ生ズル收入」ト云フ文字ハナイノデスネ

○政府委員(小川郷太郎君) サウデス、資金及投資ガ一切ノ課金ヲ課セラレザルヤウ措置ヲ執ル、斯ウ云フコトデスカラシテ、何レ課税ト云フコトニナレバ、資金及投資ト云フモノデ、利益ガ出來ルト云フコトヲ當然考ヘテ居ルデアラウト思ヒマス

○馬場鑒一君 所得税トカ收益税ノ關係カラ云ヘバ、サウ云フ問題ガ起ルノデスガ、今ノ條約ハサウスルト、「資金及投資」ト書イタノハ資金ソレ自身、例ヘバ財産税ノヤウナモノヲ豫想シテノ場合ト、ソレヨリ生ズル收入、即チ收益税、所得税ト云フヤウナモノヲ免除スル、斯ウ云フ趣意ト御覽ニナッタ譯デスネ

○政府委員(小川郷太郎君) サウ云フ風ニ解釋シテ居リマスガネ、資金其モノハ殆ド賠償金其モノダと思フノデスガネ、ソレヲ何處カ投資ノ形デ置イタモノト云フモノ

ガ、關係スベキ範圍トシテデスネ、ソレニ課金ヲ掛ケナイ、斯ウ云フ趣旨ト思フノデス

○石渡敏一君 利子ガ附イタリ何カスルト云フ、マアソレハ投資ノ結果デスケレドモ、其利子マデモ含シタモノカ否ヤト云フコトモ問題ニナツテ來ルシ、モウ一ツ週テサウ云フ條約ガマダ御諮詢ニナラヌ前ニ斯ウ云フ法律案ガ出ルト云フコトノ例ガアルノデセウカ、基ク所ノ條約案ガ無シニ法律ノ方ガ先ニ出テシマフト云フコトガ……

○政府委員(小川郷太郎君) ソレハ私ハ石渡サンノ方ガ能ク御存知デアラウト思ヒマスガ、實ハ此條約締結權ト、ソレカラ法律ノ協贊權トデスネ、此憲法上ノ問題カラシテ是ハ兩方共獨立シテ居リマスカラ、獨立シテ居ルト云ヘバソレダケノ形デ、ソレガ條約ガ締結サレテ來マシタナラバ、議會ノ協贊權ハ何デモ彼デモ皆悉ク其通りニセナケレバナラス、豫算ノ議定權モ必ズ之ニ附イテ行カナケレバナラスト云フコトニナルトデスネ、色ミ議論モ起リマスノデ、極ク條約締結權トソレカラ法律ノ協贊權ト……

議會ノ協贊權ト云フモノト圓滑ニ調和ヲシテ行クト云フヤウナ所カラデスネ、先キニ豫算ガ要ルモノナラ豫算ノ協贊ヲ求メル、

法律ガ要ルモノナラ法律ノ協贊ヲ求メルト云フヤウナコトガ當然ダ、斯ウ考ヘテ居ル譯デス、理論上ハ兩方共獨立シタ何デアリマスカラ、構ハズニヤツテモ宜イヤウナモノデアリマスケレドモ、是ガ妥當デアルト考ヘテ居ルノデアリマス

○石渡敏一君 モウ一ツ伺テ置キタイ、外國ノ例ハドシナ風ニナツテ居リマスカ、今ノ所デハ……外ノ國デ實際ニ今ヤツテ居リマス所デハ、ドンナ風ニナツテ居リマスカ

○政府委員(小川郷太郎君) 外ノ國ハ多ク條約ガ批准サレテ居リマス、唯批准サレヌノガ日本ト葡萄牙……イヤ波蘭デスカ、殆ド條約ノ批准ハ出來テ居リマシテ、モウ事實此協定ハ實行ガサレテ居ルノデス、總テノ國ガ皆批准セヌデモ此協定ハ行ハレルモノダ、斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ、此銀行ハ瑞西ノ「バーデン」ニ本店ヲ置イテ居リマス、千九百三十年二月ノ十六日ニ、瑞西デハ國際決濟銀行設立條例ガ發布シテアリマス、銀行ガモウ仕事ヲシテ居ルノデアリマス、二月十六日カラ……、此銀行ハ瑞西ニ出來マスカラ、瑞西デ此國際決濟銀行設立條例ト云フモノヲ發布シマシテ、ソコデ今ノ廣汎ナル免稅規定ヲ設ケテ居リマス、ソレカラ英國ニ於キマシテハ財政法ニ依リ

マシテ免稅規定ヲ設ケテ居リマス、ソレハ千九百三十年ノ財政法第二十八章ニアル、ソレカラ佛蘭西、白耳義、獨逸ハデス、是ハ御承知ノ通り其法律デ條約ヲ決メテ行キマスカラ、「ヘーグ」協定モ法律ヲ以テ實行シテ居リマスノデス、免稅法律ノ制定ハ必要トシマセヌ、今申上ゲタヤウナ規定ハ當然條約ニ嵌ッテ居リマス

○加藤政之助君 是ハ國際銀行ノ支店カ何カ日本ニ出來ルノデアリマスカ、ソレガ出來ルトスレバ免稅ノ關係ガ生ズルノデアリマスガ、サウデナイトスト云フト此銀行カラ日本ニ對シテ支拂フト云フモノ、其支拂金ニ對スル免稅ト云フコトニナリマスカ

○政府委員(小川郷太郎君) 日本ニハ支店ハ設カラヌダラウト思ヒマス、現在デハ設カツテ居リマセヌ、併シ此銀行ノ組織ハ、一番……何デスネ中心ニナツテ居ルノハ日、英、佛、獨、伊、白、サウ云フモノガ中心ニナツテ主トシテ働イテ居リマス、ソレニア米利加デハ銀行團ノ「モルガン」商會、「モルガン」商會ダケデハアリマスガ、ソレガ主トシテ、此事務ヲ取扱ハレルヤウナコトニナリマスカラ、日本デハ爲替ノ關係モアリマスカラ、正金銀行ガ事實上ニ於ケル所ノ賠償金ニ關係シテ……若シ日本ガ受取ルト

カ、日本ガドウスルトカ云フコトニ付テ、日本銀行ガ暫時預テ置クトカ何トカ云フコトモ起ッテ來ルダラウト思ヒマス、先ヅ中央銀行ガ世話ヲスルト云フ立前デ協定ガ出來テ居リマス

○加藤政之助君 ソレニ對スル免稅デスネ

○政府委員(小川郷太郎君) サウデス

○石渡敏一君 唯今マデノ取扱ニ考ヘテ見テ、實際問題トシテ條約ガ本ニナル、其本ガ未ダ御裁可ニナラズ、國家ノ法律デ結果ニ付テ法律デ極メテシマウ、豫メ極メテ置クト云フコトハ、何ダカ變ナヤウナ氣ガシマスガ、ソシナコハナイト云フ御考デアリマセウカ

○政府委員(小川郷太郎君) ソレハ先程モ申シマシタガ、此條約ハ總テノ國ガ批准セヌデモ、幾カノ國デアリマシタカ批准シマシタナラバ當然行ハレルコトニナツテ居リマシテ、現ニ銀行ガ出來テ居ルノデス、ソレデ仕事ヲシテ居ルノデアリマス、日本モ此條約ガ御批准ニナルトナラストニ拘ハラズ、少クトモ賠償金ハ貰ハナケレバナラスノデアリマスカラ、其賠償金ヲ貰フト云フコトニ付テ起ル事務ガ出來テ來マスカラシテ、當然斯ウ云フヤウナ場合ヲ生ズルノデアリマシテ、ソレニア免稅ヲスル、課稅

ヲシナイ、斯ウ云フコトガ必要トナッテ來ル
ト思フノデアリマス

○石渡敏一君 私ノハ若シサウ云フ場合ガ
此條約ノ成立スルト否トニ拘ラズ、此事務
ハアルノダカラ其事務ニ付テ、此法律ガ通
過スレバ税ガカカラナクナルト、斯ウ云フ
立前デ行キマスノナレバ別段ニ異論ヲ挾マ
ナイノデスケレドモ、サウ云フ獨逸カラ拂
フ償金ヲ日本ニ持ッテ來ルニ付テ、何カ税ノ
カカルヤウナコトガアルデセウカ、ソレハ
當然入ッテ來テ税モ何モカカラスト云フヤ
ウニ普通想像サレルノデスガ、其處ハドン
ナモノデセウカ、アレバ私ハモウ別段ニ何
トモ言ハナイノデスケレドモ、ドウデゴザ
イマセウ其處ハ……

○政府委員(小川郷太郎君) 預金トシテ預
ケ入レルトカ、或ハ銀行手形、大藏省證券
等ニ投資シテ置クト云フヤウナ場合ガアル
限り、此課税ノ問題ハ起ッテ來ルデアラウト
思ヒマス

○委員長(伯爵奥平昌恭君) 速記ヲ止メ
テ……

〔速記中止〕

○委員長(伯爵奥平昌恭君) ソレデハ是ヨ
リ速記ヲ開始イクシマス、國際決濟銀行ニ
租税等ヲ課セザルコトニ關スル法律案、是

ニ付テノ御質問ハゴザイマセヌカ
○加藤政之助君 アリマセヌ

○委員長(伯爵奥平昌恭君) ソレデハモウ
御意見ノアル方ハ御意見ヲ承ハッテ決シタ
イト思ヒマス、國際決濟銀行ノ方ヲ先ニ決
メマセウ

〔「原案賛成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵奥平昌恭君) ソレカラ次ハ
震災被害者ニ對スル租税減免猶豫等ニ關ス
ル法律案

○馬場鏐一君 私ハ原案ニ賛成スル者デア
リマスガ、ソレニ付テ希望ヲ述べマシテ、
政府ノ御答辯ヲ得テハッキリ賛成シタイト
思ヒマス、此法案ニハ前回ノ奥丹後ノ震災
ノ場合ニ於ケル法律ニアル租税徵收猶豫ト
云フコトノ規定ガナイノデアリマス、其規
定ヲ置カレナクツコトニ付テハ、相當ノ理
由モアルモノト考ヘマスガ、併ナガラ尙ホ
相續税等ニ付テ、其他ノ租税ニ付テモアラ
ウト思ヒマスガ、可ナリ納税者ノ中ニハ實
際ノ事情氣ノ毒ノ者モアルヤウニ思ハレル
ノデアリマス、就テハ實際稅務署ガ租税ヲ
徵收スル場合ニ、出來ルダケ事情ヲ斟酌シ
テ、適宜ノ措置ヲ執ルヤウニ御考慮ヲ願ヒ
タイノデアリマス、此希望ニ付テ政府ノ御
所見ヲ伺ツタ上デ、ハッキリ賛成ヲ申上ゲタ

イト思ヒマス、一應其點ヲ政府委員ニ御伺
ヒ致シタイ

○政府委員(小川郷太郎君) 御趣旨ノ點ハ
諒承イタシマシタ、出來ルダケ考慮シタイ
ト思ヒマス

○馬場鏐一君 只今ノ政府委員ノ御答辯ヲ
得テ私ハ満足デアリマス、原案ニ賛成イタ
シマス

〔「原案賛成」ト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵奥平昌恭君) ソレデハ是ニ
テ兩案トモ決シマシタ、誠ニ御苦勞サンデ
ゴザイマス

午後三時二十一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵奥平 昌恭君

副委員長 石渡 敏一君

委員

公爵鷹司 信輔君

子爵梅小路定行君

馬場 鏐一君

加藤政之助君

尾崎元次郎君

政府委員

大藏政務次官 小川郷太郎君

大藏參與官 勝 正憲君

大藏書記官 野津高次郎君

商工參與官 野田文一郎君